

■ 保険薬局

○ 保険薬局におけるIT導入に伴う変化に関する評価についてみると、肯定的な評価（そう思う）が多かったものとしては「診療報酬の請求事務が効率化された」78.9%、「比較可能なデータの蓄積と活用が可能になった」58.7%などがあった。

また、否定的な評価（そう思わない）が多かったものとしては「会計のミスが減少した」30.9%、「業務が効率化され残業時間が減り、人件費が削減された」30.3%、などがあった。

表 3-2-12 IT導入による変化（保険薬局）

	施 設 数	そ う 思 う	そ う 思 わ な い	ど ち ら で も な い	無 回 答
比較可能なデータの蓄積と活用が可能になった	327	192	32	58	45
	100.0%	58.7%	9.8%	17.7%	13.8%
処方量の基準値オーバーや禁忌等のインシデント等が減少した	327	125	70	85	47
	100.0%	38.2%	21.4%	26.0%	14.4%
見読性が向上し、伝達ミスによるインシデント等が減少した	327	74	77	117	59
	100.0%	22.6%	23.5%	35.8%	18.0%
薬歴簿等の電子化により、紙等の消耗品の使用量が削減された	327	91	61	84	91
	100.0%	27.8%	18.7%	25.7%	27.8%
正確な物流管理により在庫が適正化された	327	81	64	109	73
	100.0%	24.8%	19.6%	33.3%	22.3%
会計のミスが減少した	327	140	58	81	48
	100.0%	42.8%	17.7%	24.8%	14.7%
診療報酬の請求事務が効率化された	327	258	16	18	35
	100.0%	78.9%	4.9%	5.5%	10.7%
業務が効率化され残業時間が減り、人件費が削減された	327	102	99	88	38
	100.0%	31.2%	30.3%	26.9%	11.6%
システム障害のため業務に影響があった	327	117	101	67	42
	100.0%	35.8%	30.9%	20.5%	12.8%

3 まとめ

- 本調査では、全国の病院、一般診療所、歯科診療所、保険薬局に対してアンケート調査を行い、医療のIT化に伴い各医療機関・保険薬局が負担しているコストー「システム導入保守に係る費用」「施設内の人的資源の投下」ーを定量的に把握することができた。
- 特に「施設内の人的資源の投下」については、前年度調査結果においても、院内のスタッフがITシステムの導入・運用に関して何らかの関与を行い、相当程度の人的資源（人件費）を投下していることを把握していたが、本調査では、さらに人的資源の投下量の把握を試み、人件費へのコスト換算を行った。
- さらに、ITシステムの新規導入に伴うコストだけではなく、診療（調剤）報酬改定に伴う医事（調剤）業務支援システムの追加的な改修・組替費用や、レセプト電算処理へ対応に伴う追加的な改修費用、医薬品マスタ・材料マスタの購入費用等についても把握を行った。
- また、医療ITの導入効果についても、コスト・業務への影響について、医療機関側の評価を定量的に把握することができた。

- ただし、本調査の回答率が低調であったため、回答結果の代表性には充分留意する必要がある、今後、医療のIT化に係るコストについて政策に活用できるデータを得るためには、本調査結果を基礎として更なる調査を実施することが望まれる。